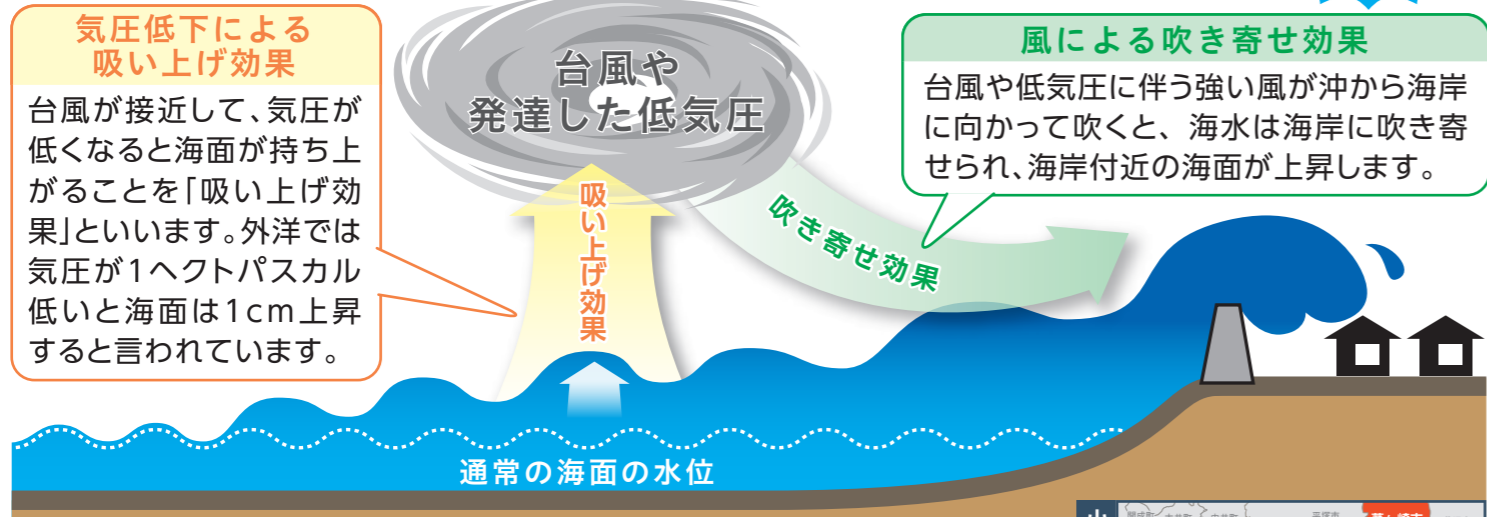


① 高潮とは

台風や発達した低気圧が通過すると、波が高くなると同時に海面の水位も上昇します。これを「高潮」といいます。



高潮発生時に気をつけること

- ×ダメ 興味本位で海の様子を見にいたり、海沿いの道路に近づかない
- ×ダメ サーフィン、ボートや釣りなど、海でのレジャーは避けましょう
- ! 注意 風雨がおさまっても、しばらくは波の高い状態が続く

高潮特別警戒水位とは

小田原検潮所の海面の水位が高潮特別警戒水位(茅ヶ崎市の場合はT.P.+1.20m)に到達

神奈川県は「高潮氾濫発生情報」(警戒レベル5相当情報)を発表

小田原検潮所の位置

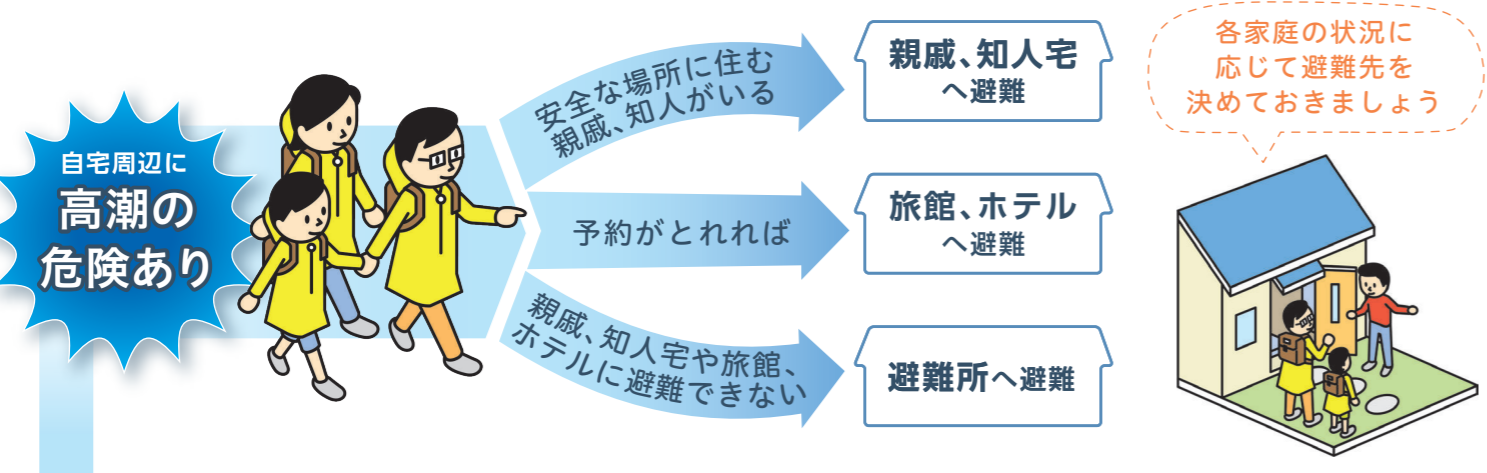
湯河原町～藤沢市 T.P.※+1.20m (小田原検潮所)

小田原検潮所(気象庁)

※T.P.: 東京湾平均海面

③ 高潮からの避難 (立ち退き避難と垂直避難)

高潮が発生した場合には、原則として高潮の危険がない区域へ立ち退き避難をしましょう。



以下の123の条件に全て当てはまる場合は、屋内の高い場所での安全確保(垂直避難)も可能です

- 1 家屋倒壊等氾濫想定区域(越波、氾濫流)の外
 - 2 浸水する深さより高い所に滞在できる
 - 3 食料などを備えていて、水がひくまで生活できる

生活可能な量の食料や水、トイレを備蓄しましょう

123の条件がクリアできたとしても

市内の高潮による浸水継続時間は主に12時間未満ですが、以下の状況が想定されますので注意してください。

 - エアコンが使えなくなり、熱中症の危険性が高まる
 - エレベーターや冷蔵庫が使用できなくなる
 - トイレが使用できなくなる

② 警戒レベル (避難のタイミング)

警戒レベルは、災害発生の危険度と、危険度に応じた避難行動を分かりやすく示した情報で、市が発令します。1～5の5段階で示され、数字が大きいほど災害の危険度が高くなります。ここでは、危険を避けるために具体的な避難行動が必要となる警戒レベル3～5について説明します。

低

災害発生の危険度

高

台風が近づいてきたら…

- 気象情報や市からの情報を収集する。
- 「持ちもの」を準備する。
- 親戚、知人に避難先などを連絡する。不安な場合は近所の人に相談する。

警戒レベル 3

高齢者等避難

高齢者、障がい者、乳幼児や妊婦など、避難に時間のかかる方とその支援者は避難!

高潮注意報※
大雨警報/洪水警報
氾濫警戒情報
(気象庁が発表)

警戒レベル 4

避難指示

危険な場所から全員避難! 移動が危険な場合は、近くの安全な場所や、屋内のより安全な場所へ

高潮特別警報/高潮警報
土砂災害警戒情報
氾濫危険情報
(気象庁が発表)

警戒レベル 5

緊急安全確保

すでに災害が発生・切迫している状況
万が一、逃げ遅れた場合は安全確保

大雨特別警報
氾濫発生情報
(気象庁が発表)

警戒レベル4までに危険な場所から全員避難

※高潮警報に切り替える可能性が高い場合

④ 持ちもの・逃げ方

避難するときの持ちものを決めておきましょう。避難するとき、何に気をつけるか考えておきましょう。

それぞれの状態・状況に合わせて必要な持ちものを用意しましょう

避難するときは徒歩が原則です

明るいうち、天候が悪化する前に避難しましょう

詳しい内容については、『風水害からあなたと大切な人の命を守るガイドBOOK(P9,10)』を参照してください

⑤ 情報の入手

災害から命を守るためには情報の確認が非常に重要です。積極的に情報を入手して「早めの行動」心がけましょう。

積極的に正しい情報を入手しましょう

茅ヶ崎市 防災・緊急情報サイト [検索](#)

最新の天気予報から、避難情報や避難所の開設情報、河川の水位観測情報やライブカメラ画像、ハザードマップ、ライフラインの最新情報など。災害時はもちろん、平時から防災に役立つ情報を幅広く収集できます。

詳しい内容については、『風水害からあなたと大切な人の命を守るガイドBOOK(P13)』を参照してください